

－ 一年末年始に感染症が流行の兆し！マスクに関する意識・実態調査－

感染症に対する予防意識が高い反面、 “マスクを正しく使用できていない人”が73%

マスクの誤った使い方としては

- ◆「ウイルスが付着したマスクのフィルターを触ってしまっている人」が43%
- ◆「マスクを外した後、手洗いでできていない人」が54%

エーザイ株式会社(本社:東京都、社長:内藤晴夫)薬粧事業部は、感染症などの対策のためにマスクを日常的に使用している、全国の12歳以上の男女310名を対象に、マスクに関する意識・実態調査を実施しました。

今年は、「ノロウイルス」「マイコプラズマ肺炎」「RSウイルス」などの感染症が、例年以上に早い時期から流行の兆しを見せています。また、これから猛威をふるうことが予想される「インフルエンザウイルス」にも注意が必要です。そこで、本格的な冬を迎える前に、マスクに関する意識と使用の実態を調査しました。

本調査に監修いただいた、坂口剛正教授(広島大学大学院 医歯薬保健学研究院 基礎生命科学部門 ウィルス学研究室)は、「感染症予防のひとつとしてマスクは有効である一方、正しくマスクを使用しないと、その効果を十分に発揮しない」とコメントしています。(本調査に関する坂口教授のコメントは、P.5をご参照ください)

< 調査結果のポイント >

- ① マスクの使用と感染症予防への意識
感染症に対する予防意識が高い人は“85%”
- ② マスクを正しく使用できているか？
感染症に対する予防意識が高い反面、“73%”の人はマスクを正しく使用できていない
－マスクの誤った使い方としては
「ウイルスが付着したマスクのフィルターを触ってしまっている人」が43%、
「マスクを外した後、手洗いでできていない人」が54%
- ③ 同じマスクをどのくらい使っている？
取り換え頻度は1日1回が最多
一方、17%の人(6人に1人)が“2日以上同じマスクを使用”
- ④ マスクの着脱回数と、着脱時のマスクの扱い方
同じマスクを使用中に、マスクの着脱回数は“平均8.2回”

【本資料に関するお問い合わせ先】

「クリスタルヴェール マスク防菌 24」PR事務局 (オズマピーアール内)

TEL:03-4531-0212 担当:田中日奈子、丸地康代

調査概要

- ◆調査実施日： 2012年11月29日～30日
- ◆調査対象者： 例年12月から2月頃の間、感染症(インフルエンザなど)対策のために、マスクを日常的に(週1日以上)使用している人
10代(12歳以上)/20代/30代/40代/50歳以上
各年代 男女31名 合計310名
- ◆調査手法： インターネットによるアンケート調査

調査結果

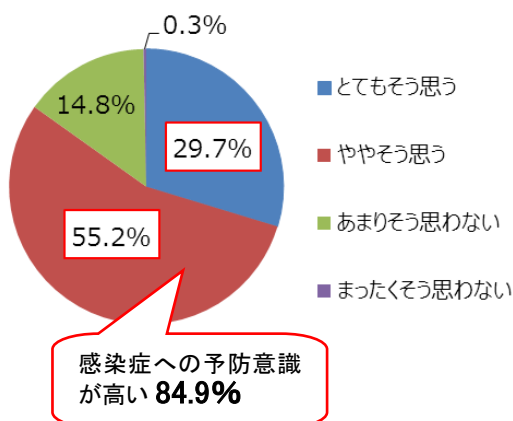
① マスクの使用と感染症予防への意識

感染症に対する予防意識が高い人は“85%”

97.1%の人がマスクの着用は感染症予防に有効だと思っている

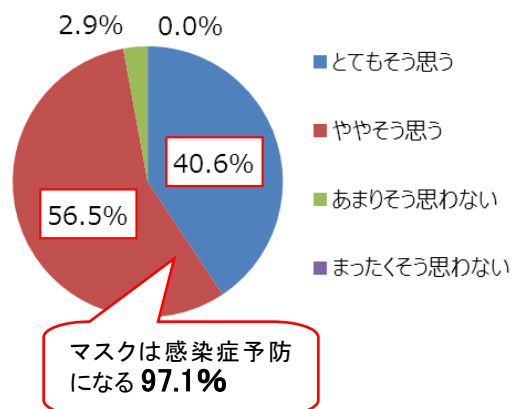
【図①-1】

あなたは、インフルエンザなどの感染症に対する予防意識は高い方だと思いますか。(n=310)



【図①-2】

あなたは、マスクを着用することが風邪・インフルエンザなどの感染症予防になると感じますか。(n=310)



② マスクを正しく使用できているか？

感染症に対する予防意識が高い反面、“73%”の人はマスクを正しく使用できていない

正しいマスクの使い方(※右記参照)の5つの項目について普段から実践しているかを尋ねたところ、普段から実践している人(すべて「はい」と回答した人)は26.8%で、およそ7割の人が正しいマスクの使い方ができていないことが判明しました。

<正しいマスクの使い方>

- ① 鼻、口、顎を覆うようにマスクを装着する
- ② 鼻の部分を抑えてフィットさせ、隙間がないように装着する
- ③ 使用中、口周りを覆うフィルター部分は触らない
- ④ 外す際、フィルター部分の表面に触れないようゴムひもを持って顔から外す
- ⑤ マスクを外した後は手を洗う

※監修： 坂口剛正教授(広島大学大学院 医歯薬保健学研究院 基礎生命科学部門 ウイルス学研究室)

※参考： 厚生労働省「新型インフルエンザ流行時の日常生活におけるマスク着用の考え方」

マスクの誤った使い方としては

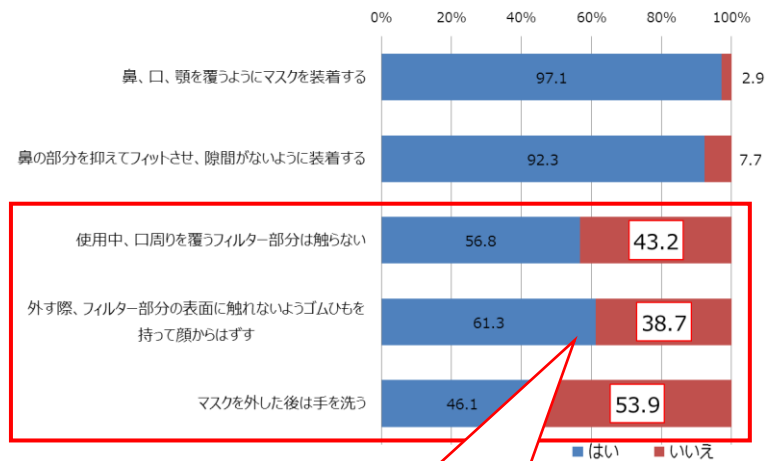
**「ウイルスが付着したマスクのフィルターを触ってしまっている人」が43%
「マスクを外した後、手洗いできていない人」が54%**

特に実践できていなかった上位3項目は、「使用中、口周りを覆うフィルター部分は触らない」「外す際、フィルター部分の表面に触れないようゴムひもを持って顔から外す」「マスクを外した後は手を洗う」でした【図②-1】。

また、これらの上位3項目が実践できない理由としては、「正しい方法だと知らなかったから」と回答した人が最も多く、次いで「面倒だから」「必要性を感じないから」が挙がりました。

【図②-1】

あなたは、マスクに関して以下の項目を普段行っていますか。(n=310)



「フィルターを触らない」
「手を洗う」が実践できていない

◆ウイルス学専門家 坂口教授のコメント ～正しいマスクの使い方～

マスクには飛沫感染を防ぐという目的がありますので、ウイルスの侵入経路である鼻と口をできるだけ空気の漏れがないように覆うようにしましょう。また、使用しているとマスクの外側のフィルター部分にはウイルスをはじめとする病原体が付着していると考えerべきです。そこで、使用中やマスクを外すとき、口周りを覆うフィルター部分は触らないことが大切になります。マスク使用前に、マスクに防菌のスプレーをすることも、ウイルスの付着を防ぎ効果的です。さらにマスクを外した後で手を洗えば、感染予防になります。

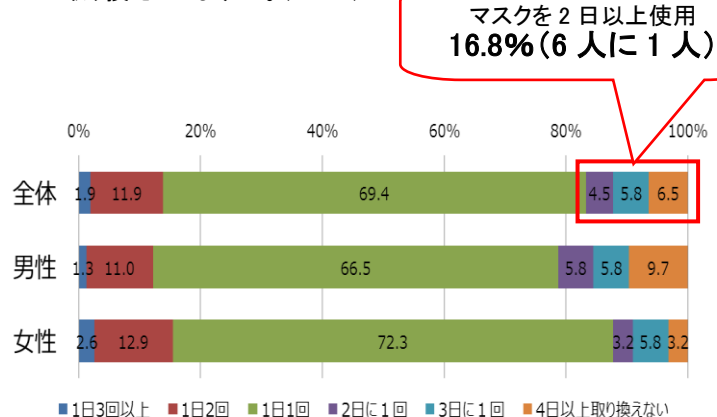
③ 同じマスクをどのくらい使っている？

17%の人(6人に1人)が“2日以上同じマスクを使用”

マスクを取り換える頻度は「1日1回」が最多

マスクの取り換え頻度を尋ねたところ、全体平均で「1日1回」が69.4%と最も多くなった一方、6人に1人は2日以上同じマスクを使用していることが分かりました。同じマスクを2日以上使用する人を性別で見ると、男性は21.3%、女性は12.2%であったことから、男性の方が同じマスクを長く使用する傾向があるようです【図③-1】。

【図③-1】あなたは、どのくらいの頻度で新しいマスクに取り換えていますか。(n=310)



マスクを2日以上使用
16.8% (6人に1人)

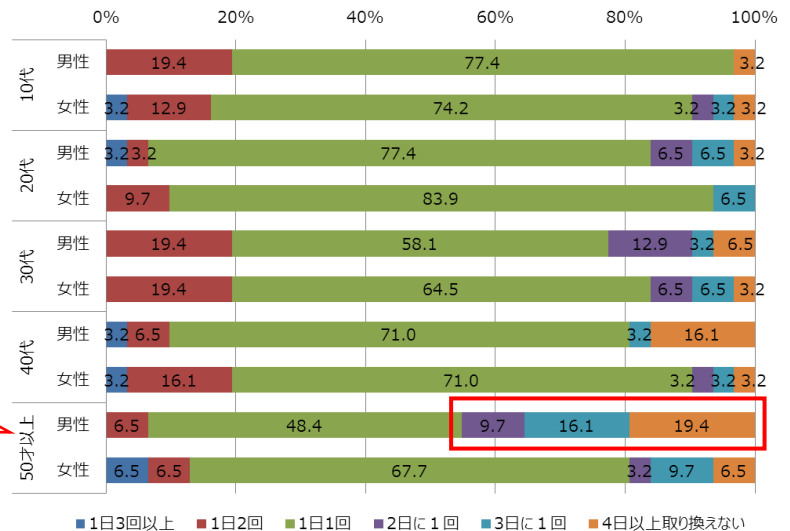
50歳以上の男性は、およそ半数が2日以上マスクを取り換えていない

50歳以上の男性はマスクを取り換える頻度が最も少なく、およそ半数の45.2%の人が2日以上同じマスクを使用していることが分かりました【図③-2】。

50代男性の**45.2%**
(およそ半数)が
2日以上取り換えない

【図③-2】 年代・性別 (n=310)

あなたは、どのくらいの頻度で新しいマスクに取り換えていますか。



④ マスクの着脱回数と、着脱時のマスクの扱い方

同じマスクを使用中に、マスクの着脱回数は“平均 8.2 回”

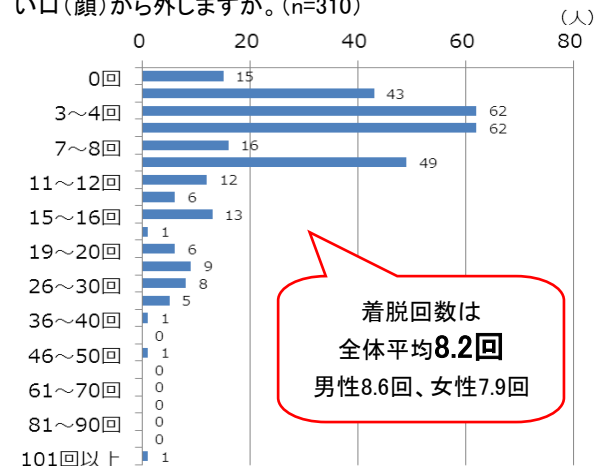
マスクを外した時の扱いは、「半分に折って置く」「口側を上に乗く」「ポケットやカバンに入れる」もう一度つける時、「何もしない」が 91.9%、一方で「消毒スプレーをかける」意識の高い人も

同じマスクを使用している間、マスクを何回着脱するか尋ねたところ、全体平均 8.2 回でした。性別で比べると、男性は平均 8.6 回、女性は 7.9 回と、男性は着脱回数が多い傾向が明らかになりました【図④-1】。

一時的に外したマスクをどうするか尋ねたところ、全体で「半分に折って置く」が 34.2%と最も多く、次いで「口側の面を上にして置く(22.3%)」「ポケットやカバンなどに入れる(21.6%)」でした。性別では、男性は「口側を上にして置く」が 27.7%と最も多く、女性は 45.2%が「半分に折って置く」と答え、男女で外したマスクの扱い方に違いが現れました【図④-2】。

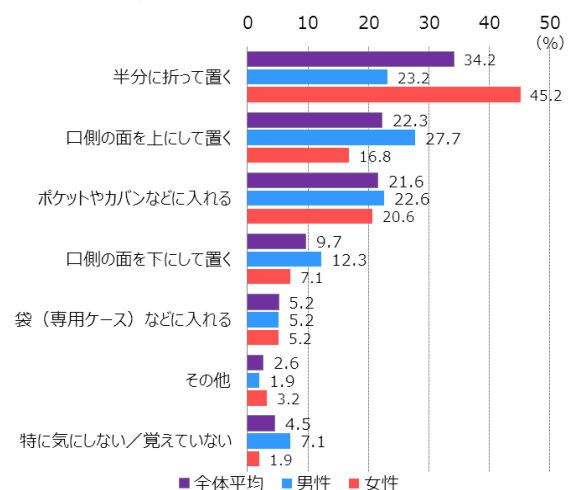
また、外したマスクを再度つける際に、特別に何かを行うことがあるかを尋ねたところ、91.9%のほとんどの人が「何もしていない」ことが分かりました。特別なことを行っている人の回答には、「消毒スプレーをかける」「軽くはたく」「ガーゼやティッシュを中に入れて」などがありました。

【図④-1】 あなたは、同じマスクを使用している間、何回くらい口(顔)から外しますか。(n=310)



着脱回数は
全体平均**8.2回**
男性8.6回、女性7.9回

【図④-2】 あなたは、一時的に外したマスクを、その後どうしていますか。(n=310)



本調査結果について ウィルス学専門家のコメント

坂口 剛正(さかぐち たけまさ) 教授

広島大学大学院 医歯薬保健学研究院 基礎生命科学部門 ウィルス学研究室



◆生活者の感染症予防意識とマスクの使用実態について

今回の調査結果で、現代の日本人は高い衛生の意識を持っていることに驚きました。しかし、マスクの正しい使用方法を知っている人は少ないようです。マスクは感染症予防のひとつとして有効ですが、正しく使用しなければその効果を十分に発揮できません。

◆マスクによる感染症予防の有効性

インフルエンザウイルスは主に飛沫感染で伝わるので、マスクの着用は感染予防としてかなり有効です。また、人は1日に何回も鼻や口に手をやりますので、手に付いたウイルスが接触感染の原因になります。マスクをしていると間接的に接触感染を防ぐことができるため、この点でもマスクは有用です。

◆マスクの正しい使い方

マスクには飛沫感染を防ぐという目的がありますので、ウイルスの侵入経路である鼻と口をできるだけ空気の漏れがないように覆うようにしましょう。また、使用しているとマスクの外側のフィルター部分にはウイルスをはじめとする病原体が付着していると考えerべきです。そこで、使用中やマスクを外すとき、口周りを覆うフィルター部分は触らないことが大切になります。マスク使用前に、マスクに防菌のスプレーをすることも、ウイルスの付着を防ぎ効果的です。さらにマスクを外した後で手を洗えば、感染予防になります。

◆マスクを取り換える頻度

不織布マスクは原則として使い捨てであり、1日1枚程度の使用が目安です。2日以上使用することは推奨しません。2日以上の使用は、ウイルスなどがマスク表面に多く付着していると考えerべきであり、それを広げてしまうかもしれません。またフィルターの劣化によって予防効果が薄れるだけでなく、臭いなどの不具合も起こります。

◆マスクの着脱時における注意点

着脱する際には、マスクの表面に付着しているウイルスなどの病原体を意識する必要があります。また、外したマスクを置く場所や保管した場所には病原体が付着する恐れもあります。一時的に外したマスクを置く場合は、マスク専用の入れ物に保管したり、可能であれば、再装着時に消毒スプレーを使用したりするのもよいと思います。

<感染症予防のためのマスク着用3箇条>

①マスクの隙間を作らない

マスクと顔に隙間を作らないことでウイルスの侵入を防ぐ

②マスクの表面を触らない

マスクの表面に付着しているウイルスを触って広げない

③マスクにウイルスを寄せ付けない

マスク用防菌スプレーなどを活用して、マスクにウイルスを寄せ付けない